

会員さんに聞きました！〜商工会議所の活用法〜

小規模事業者持続化補助金の活用事例紹介

アースベリーコーヒー

EARTH BERRY COFFEE

片岡晃さんの場合

住所 東広島市西条昭和町6-2 1 F
電話 082-421-6155
営業時間 10時~19時
定休日 日曜・祝日
URL <http://earthberrycoffee.com>



小規模事業者持続化補助金

小規模事業者が商工会議所・商工会の助言等を受けて事業計画を作成し、その計画に沿って地道な販路開拓等に取り組む費用の2/3が50万円を上限に補助されます。

※次回募集時期は未定です

片岡さんは、補助金の応募に先立ち、事業計画を作成されました。どのような販路開拓の取り組みを計画されたのか、お聞きしました。

◆どんな事業をされていますか？

生産地から高品質な珈琲生豆を直取引する新しい形の自家焙煎珈琲店を営んでいます。開業当初は喫茶の比率が大きかったのですが、本来の珈琲豆販売を伸ばしつつあります。

◆まわりの環境はどうですか？

日本の珈琲市場はキロ2千円前後の格安豆とキロ5千円以上の高品質豆の販売が急速に伸びて二極化しています。東広島市では高品質豆の市場がまだまだ確立されておらず、都市場や通信販売で購入して楽しんでいる愛好家も多いと思います。

◆どんな特長がありますか？

世界中の農園と直接取引できる調

達ルートの確保、ドイツ製最高峰の焙煎機の導入、焙煎技術の研鑽（全国大会入賞など）等、高品質にこだわっています。おかげさまで、珈琲の淹れ方教室は予約で一杯です。

◆今後の目標と取り組みは？

この分野での市内シェアNo.1を取るという目標に向け、販路開拓・客単価の増大・ブランディングなどのプランを立てました。

今回は、チラシによるターゲット層への広報とデータベースソフト導入による顧客分析の効率化について小規模事業者持続化補助金に応募し、採択されました。これまではSNSや口コミでの集客に頼っていたので、新しい取り組みの良いきっかけになりました。

顧客や販売のデータを分析してみて、やるべきこと・やるべきでないことがハッキリしました。事業計画作成に取り組んで本当に良かったと思います。



○担当者からひとこと

片岡さんは、明るく、非常に熱心で、支援しがいのある方です。

経理の相談から、今回の事業計画まで、良いお付き合いをさせていただいております。

今回の、持続化補助金の申請に際し、これまで蓄積された顧客データを見直し、ターゲット顧客を明確にされたことに感嘆しました。

お客様の心理は、経営者にはわかりづらいもので、アンケートは、自店をどういった目で見られているのか、店づくりをどうしたらよいのかの貴重な資料になります。

事業主自身が作らないと意味がない事業計画づくりには、会議所職員が、寄り添った伴走型の支援を進めています。皆様、お気軽にお問合せください。



【担当】
企業指導課 久保田竜史